

第1グループ

第1グループガバナー補佐 齊藤 大祐（鶴ヶ島RC）

2025年-2026年度、第一グループガバナー補佐を仰せつかりました鶴ヶ島ロータリークラブ齊藤大祐と申します。職務の重要さに襟を正す想いに駆られております。浅学非才の身ではございますが、重責を全うする為に全力で取り組んでまいりたいと思いますので、皆様方のご指導とご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

2025年-2026年度国際ロータリー会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏は、メッセージの中で、成長、奉仕、つながりを大切にして「[UNITE FOR GOOD]よいことのために手を取りあおう」と呼びかけられ成長の為に不可欠な3つの柱として、革新、継続、パートナーシップを示されました。

2025年-2026年度、坂口 孝ガバナーは、「ロータリーは奉仕をする人が集まった団体」と常に申されております。しかしながら昨今の会員数減少に伴うロータリークラブの変化に対して常に危機意識を持たれておりました。そこで次年度の活動方針として、ロータリーの活動理念を見つめ直し原点に戻りそこから一歩踏み出してクラブを活性化し、強いクラブをつくる事を大きな柱として示されました。

基本理念に裏打ちされた良い変化、と言い換える事が出来るのではないのでしょうか
マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長の3つの柱がありましたが、「ロータリーの主体はクラブ」、と言う視点で考えてみると、「革新」とは、伝統に裏打ちされた良い変化、「継続」とは、世代を継ぐ良い伝統、「パートナーシップ」とは、多くの団体や人々から良いことは学び時として共同活動を行いそれらを実践していく事ではないのでしょうか、根底にある大事なことは、「フェロウシップ」志を共有した仲間、言い換えれば基本理念をしっかりと身に着けたロータリアンを増やす事、それこそがクラブの活性化、クラブの強化と言えるのではないのでしょうか、志を共有し、強いクラブ、より良いクラブ、強いロータリークラブをつくる事が2025年-2026年度坂口 孝ガバナーの想いです。その想いを実現する為に皆様方のご理解とご協力、何卒、宜しく願い申し上げます。

また、2025年-2026年度坂口 孝ガバナーが提唱いたしております下記の8大地区方針の推進も重ねて皆様方のご理解とご協力、宜しく願い申し上げます。

1. 会員基盤の強化
2. 活動の多様化
3. 教育・研修プログラムの提供
4. 交流イベントの開催
5. 定期的なフィードバックの実施
6. 新しいロータリーを創造しましょう(3-Year Rolling Targets)
7. ロータリー財団への支援
8. ポリオ根絶にむけて

最後になりますが、ガバナー補佐の任務の1つにクラブの状況を報告する事がございます。何かクラブ内で、お困りごとや重要な問題等がございましたらご相談頂きたいと思っております。

皆様方と共にまた、皆様方に教えて頂きながら全力で努めてまいりたいと思いますので、どうぞ宜しく願い申し上げます。